

(様式1)

観光社会資本の事例

テーマ	世界一の吊橋明石海峡大橋
【施設の状況写真】	
	
<p>明石海峡大橋は、神戸市垂水区舞子と淡路島の津名郡淡路市松帆の間に位置する全長3,911mの吊橋です。吊橋の規模を示す中央支間長(塔と塔の距離)は、世界一の1,991mを誇り、さらに主塔の高さは海面上約300mとなり、東京タワー(333m)とほぼ同じ高さになります。</p>	
【施設の利用写真】	
	
<p>世界最長の吊橋・明石海峡大橋の塔頂まで案内するツアー「明石海峡大橋ブリッジワールド」を開催し、大好評を博しています。</p>	<p>周辺の自然環境、歴史的景観等に配慮しながら品位と風格を備えたライトアップをおこなっています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>明石海峡大橋は、大鳴門橋とあわせて本州と四国を結ぶ交通基盤としての効果だけでなく、壮大で優美な姿は数多くの人々を引きつけてやみません。</p>	
<p>近隣周辺には数々の公園等があり、舞子公園からは実際に明石海峡大橋の橋桁の中を歩くことができる「舞子海上プロムナード」があります。また、近隣だけでなく六甲山上や生駒山上など遠くから眺められる観光資源として、他の観光スポットへ大きな波及効果もあります。</p>	
<p>また、夜のライトアップを楽しむため、神戸三宮から多くの遊覧船が就航し、周辺のホテルでは居ながら眺望が楽しめる部屋の人気が高いなど、明石海峡大橋のライトアップも観光資源として浸透しています。</p>	

(様式2)

テーマ	世界一の吊橋明石海峡大橋
【社会資本の基礎データ】	
名称	明石海峡大橋
所在地	神戸市垂水区舞子～淡路市岩屋松帆間
事業名	一般国道28号 神戸淡路鳴門自動車道
事業主体	本州四国連絡橋公団
事業期間	昭和61年4月26日～平成10年4月5日
【社会資本の役割・効果】	
<p>明石海峡大橋により、神戸市から徳島市への所要時間が、270分から100分へ約3分の1に短縮されました。また、海上交通に依存するこれまでの交通体系が改善され、随時性、確実性も向上したことから、広域救急医療体制や高度医療の受診機会の拡大が進み、住民生活の安全性、利便性が大幅に改善されています。さらに、徳島県の朝採れ野菜は、平成10年度より出荷が可能となり、阪神地域のスーパーにおける集客の目玉に成長するなど、四国から新鮮な野菜類、畜産物、水産物等が天候に左右されず確実に、また豊富に出荷されるようになったことで、阪神地域の消費者は恩恵を受けています。</p>	
【位置図】	
【関連ホームページ】 本州四国連絡橋公団 http://www.hsba.go.jp/	